

①国立大学別「追加合格者数・入学辞退率」一覧（一般入試）

大学名	募集人員 2012 年度	2011年度				2012年度				入学辞退者学部内訳		
		最終合格者数	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	最終合格者数	合格率	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	前期 (学部・人数)	後期 (学部・人数)
北海道大*	2,417	2,634	-	100	3.8%	2,610	8.0%	*	97	3.7%	総合文系6, 総合理系20, 文1, 法4, 経済7, 医(保健学系)2, 歯1	文5, 法6, 経済7, 理3, 医(保健学系)2, 歯1, 工20, 農5, 水産7
北海道教育大	906	1,033	8	50	4.8%	1,017	12.3%	16	51	5.0%	教育29(函館校16, 旭川校3, 釧路校6, 岩見沢校4)	教育22(札幌校4, 函館校11, 旭川校4, 釧路校2, 岩見沢校1)
室蘭工業大	485	585	0	82	14.0%	585	20.6%	0	94	16.1%	工33	工61
小樽商科大	370	410	-	28	6.8%	412	11.4%	-	31	7.5%	商4	商27
帯広畜産大	186	211	0	24	11.4%	219	17.7%	1	23	10.5%	畜産(畜産)5	畜産(獣医)2, 畜産(畜産)16
旭川医科大	112	117	5	5	4.3%	115	2.7%	3	3	2.6%	医(看護)2	医(看護)1
北見工業大	307	551	0	235	42.6%	526	71.3%	0	208	39.5%	工208	
弘前大	1,103	1,199	-	83	6.9%	1,188	7.7%	-	66	5.6%	人文17, 医(保健)4, 理工12, 農学生命科6	人文9, 教育1, 理工11, 農学生命科6
岩手大	839	1,022	0	88	8.6%	941	12.2%	0	63	6.7%	人文社会3, 教育2, 工8, 農10	人文社会14, 教育3, 工12, 農11
東北大	1,953	2,147	-	144	6.7%	2,112	8.1%	-	77	3.6%	文10, 教育2, 法4, 経済13, 理22, 医(医)1, 医(保健)4, 歯5, 薬1, 工15	教育4
宮城教育大	300	354	-	26	7.3%	334	11.3%	-	7	2.1%	教育3	教育文化9, 医(医)3, 医(保健)3, 工学資源10
秋田大	744	835	-	55	6.6%	857	15.2%	-	76	8.9%	教育文化15, 医(保健)2, 工学資源34	人文12, 地域教育文化2, 理12, 医(医)4, 工(昼)31, 農13
山形大	1,315	1,503	9	160	10.6%	1,483	12.8%	7	139	9.4%	人文8, 地域教育文化7, 理11, 医(医)4, 医(看護)3, 工(昼)30, 農2	人間発達文化8, 行政政策8, 経済経営11, 共生システム理工10
福島大	675	866	-	150	17.3%	806	19.4%	6	81	10.0%	人文66, 教育26, 理8, 工45, 農3	人文45, 教育26, 理16, 工43, 農18
茨城大	1,265	1,891	-	462	24.4%	1,610	27.3%	-	296	18.4%	人文・文化27, 社会・国際35, 人間4, 生命環境6, 理工13, 情報11, 医(医)2, 医(看護)5, 医(医療科)2, 芸術4	人文・文化7, 社会・国際1, 生命環境7, 理工13, 情報7, 医(看護)2, 芸術2
筑波大	1,466	1,779	64	223	12.5%	1,688	15.1%	24	148	8.8%	国際10, 教育16, 工34, 農11	教育25, 工13, 農10
宇都宮大	691	807	-	107	13.3%	852	23.3%	-	119	14.0%	教育11, 社会情報15, 医(保健)13, 工25	教養45, 教育45, 経済145, 理46, 工46
群馬大	762	891	6	108	12.1%	838	10.0%	6	64	7.6%		
埼玉大	1,473	1,960	19	408	20.8%	1,837	24.7%	9	327	17.8%		

国立大追加合格・入学辞退率一覧

国立大は人気を回復し 入学辞退者の減少が続く

編集部が入手できた過去2年間の国立大の入試結果データから、追加合格者数・入学辞退率・入学辞退学部について分析した。東日本大震災の影響と不況とで、経費の面からも国立大の人気が高まるのは当然だろう。国立大では全体で入学辞退者数が昨年引き続き減少している。特に首都圏の大学での入学辞退者数の減少が顕著だった。

2011年度は東日本大震災の影響で、後期日程試験がセンター試験の成績のみで合否が決まった大学もあった。2012年度は予定通り実施されたが、明るい未来への展望が描けない社会的な状況が受験生の志望動向にも大きく影響を与え、国立大の入試結果にも現れたと言えるだろう。

最近では、カリキュラムを始めとする大学の質に受験生の関心が集まるようになってきた。今年の結果が、受験生の授業料が安いという経済面からの国立大人気だけではないように願いたい。

以下、編集部で入手した国立大学81校の一般入試結果2年間の

データ(2012・2011年度)をもとに、具体的に国立大の人気と実態を分析してみた。

入学辞退率が昨年より減少し 国立大人気を裏付ける

表①は、国立大の追加合格者数と入学辞退率・入学辞退者の学部注目したものである。国立大の入試結果データは、各大学で項目の形式が異なっている。追加合格者数を区別せずに合格者数に含む大学や入学者数に一般入試と推薦入学での合計数を公表する大学、項目によっては数値を記載せず、非公表としている大学もある。このデータ一覧での最終合格者

数は、当初合格者数と追加合格者数を足したものであり、入学辞退者数は最終合格者数から入学者数を引いたものである。

まず、入学辞退率だが、2011年度、2010年度は入学辞退率が10%以上となった大学は約4割あった。2012年度は入学辞退者が減って、入学辞退率10%以上の大学は約3割となった。特に首都圏での入学辞退率の減少が目立った。

具体的に大幅な辞退者数の減少となった大学は以下の通り。横浜国立大は、2011年度の673名の辞退者から2012年度は310名と363名の辞退者数が減

少した。以下、順に茨城大166名(462↓296名)、東京外国語大135名(242↓107名)、千葉大129名(328↓199名)、東京農工大101名(161↓60名)と2011年度より辞退者数が減った。

一方、2011年度より入学辞退者数が増加したのは、静岡大41名、大分大33名、秋田大21名と通常の範囲内である。受験生人口の減少から考えると国立大の人気回復がここからもうかがわれる。

東大・京大・一橋大・京大は4年間辞退率1%以下

さて、受験生の人気を集め、辞退率が5%以下となったのは北海道大・北海道教育大・旭川医科大・東北大・宮城教育大・東京大・東京藝術大・東京工業大・一橋大・長岡技術科学大・金沢大・浜松医科大・名古屋大・滋賀医科大・京都大・大阪大・岡山・鳴門教育大・九州大の19大学である。

特に東京大・東京藝術大・一橋大・京大の4大学はここ4年間の入学辞退率が1%以下である。合格した受験生のほとんどが入学の意志を持っていると言えるだろう。

同じく、2012年度の募集人員に対し、最終合格者をどの位多く出したかという合格者割増率に注目してみると、割増率が20%以上になった大学は9大学で1割超である。2010年の3割超から2011年は2割に減少し、2012年は1割超ということで、ここから国立大人気の回復が見られる。

一方で、合格者割増率が10%以下となったのは、北海道大・旭川医科大・弘前大・東北大・群馬大・東京大・東京藝術大・東京工業大・一橋大・長岡技術科学大・金沢大・浜松医科大・名古屋大・滋賀医科大・京都大・大阪大・大阪教育大・神戸大・九州大の19大学である。これらの大学は募集人員に近い最終合格者数を出しているため、合格した受験生のほとんどが入学すると見込んでいるのだろう。

この2つの項目(入学辞退率と合格者割増率)において、入学辞退率5%以下、合格者割増率10%以下に該当の大学は、北海道大・旭川医科大・東北大・東京大・東京藝術大・東京工業大・一橋大・長岡技術科学大・金沢大・浜松医

●特集 国立大追加合格・入学辞退率一覧

大学名	募集人員 2012 年度	2011年度					2012年度									
		最終合格者数	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	最終合格者数	合格率	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	入学辞退者学部内訳					
											前期 (学部・人数)		後期 (学部・人数)			
浜松医科大	120	121	1	5	4.1%	125	4.2%	4	6	4.8%	医(医)4,医(看護)1 医(医)1					
名古屋大*	1,713	1,875	3	53	2.8%	1,842	7.5%	0	40	2.2%	文5,法2,経済6,情報文化6,医(医)3,医(保健)5,工11,農2					
愛知教育大	776	903	0	47	5.2%	880	13.4%	0	60	6.8%	教育24 教育36					
名古屋工業大*	812	922	0	92	10.0%	899	10.7%	6	101	11.2%	工101					
豊橋技術科学大	40	45	-	2	4.4%	47	17.5%	-	3	6.4%	工3					
三重大	1,079	1,274	3	103	8.1%	1,275	18.2%	8	110	8.6%	人文20,教育6,医(看護)3,工13,生物資源7 人文13,教育7,医(医)1,医(看護)3,工28,生物資源9					
滋賀大	608	792	-	156	19.7%	784	28.9%	-	150	19.1%	教育6,経済53 教育2,経済89					
滋賀医科大	125	132	-	2	1.5%	125	0.0%	-	0	0.0%	-					
京都大	2,846	2,938	0	11	0.4%	2,932	3.0%	0	7	0.2%	理1,医3,工3					
京都教育大	215	232	-	13	5.6%	239	11.2%	-	17	7.1%	教育7 教育10					
京都工芸繊維大	543	624	14	78	12.5%	642	18.2%	20	67	10.4%	工芸科6 工芸科61					
大阪大	3,215	3,468	0	112	3.2%	3,449	7.3%	2	100	2.9%	文10,人間科1,外国語26,法5,経済11,理10,医(医)2,医(保健)4,薬3,工9,基礎工19					
大阪教育大	839	915	-	68	7.4%	921	9.8%	-	51	5.5%	教育21 教育30					
兵庫教育大	102	116	-	6	5.2%	119	16.7%	-	9	7.6%	学校教育4 学校教育5					
神戸大	2,316	2,582	-	121	4.7%	2,539	9.6%	35	135	5.3%	文1,国際文化3,発達科3,法2,経済6,経営14,理5,医(保健)1,工7,海事科8 文4,国際文化4,発達科3,法4,経済8,理5,医(保健)10,工23,農3,海事科21					
奈良教育大	213	246	-	18	7.3%	247	16.0%	-	15	6.1%	教育10 教育5					
奈良女大	422	491	1	44	9.0%	495	17.3%	2	49	9.9%	文7,理3,生活環境16 文6,理10,生活環境7					
和歌山大	777	927	-	134	14.5%	928	19.4%	0	116	12.5%	教育4,経済41,システム工11,観光8 教育5,経済19,システム工19,観光9					
鳥取大	934	1,170	10	159	13.6%	1,096	17.3%	5	130	11.9%	地域23,医(医)1,医(生命科学)2,医(保健)9,工69,農26					
鳥根大	858	988	11	120	12.1%	1,008	17.5%	0	109	10.8%	法文19,教育7,医(看護)2,総合理工18,生物資源科7 法文23,教育2,医(看護)1,総合理工26,生物資源科4					
岡山大	1,701	1,890	5	87	4.6%	1,871	10.0%	1	89	4.8%	文6,教育3,法12,経済6,理1,歯1,工6,環境理工5 文6,法7,経済8,医(保健)4,薬3,工14,環境理工6,農1					
広島大	1,963	2,209	-	120	5.4%	2,197	11.9%	3	116	5.3%	総合科2,文4,教育7,法10,経済7,理5,医(保健)4,歯6,工8 総合科7,文3,教育4,法11,経済5,理16,医(医)1,歯1,薬2,工13					
山口大	1,505	1,845	10	228	12.4%	1,782	18.4%	1	223	12.5%	人文17,教育14,経済27,理16,医(保健)5,工68,農4 人文5,教育3,経済15,理12,医(保健)6,工28,農3					

大学名	募集人員 2012 年度	2011年度					2012年度									
		最終合格者数	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	最終合格者数	合格率	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	入学辞退者学部内訳					
											前期 (学部・人数)		後期 (学部・人数)			
千葉大	2,066	2,467	34	328	13.3%	2,334	13.0%	10	199	8.5%	文17,教育10,法経31,理14,医(医)7,薬5,看護1,工20,園芸8 文5,法経36,理14,医(医)1,薬1,工22,園芸7					
東京大	3,063	3,111	-	16	0.5%	3,108	1.5%	-	13	0.4%	文Ⅲ1,理Ⅰ4,理Ⅱ4,理Ⅲ1 全学部(理Ⅲを除く)3					
東京医科歯科大	246	274	*	21	7.7%	272	10.6%	*	24	8.8%	医(医)5,医(保健衛生)3,歯(歯)6,歯(口腔保健)9 歯(歯)1					
東京外国語大	703	995	*	242	24.3%	838	19.2%	*	107	12.8%	言語文化30,国際社会43 国際社会34					
東京学芸大	925	1,067	3	66	6.2%	1,066	15.2%	3	56	5.3%	教育24,教養14 教育12,教養6					
東京農工大	731	961	-	161	16.8%	806	10.3%	-	60	7.4%	農9,工13 農16,工22					
東京藝術大*	477	483	-	0	0.0%	481	0.8%	-	1	0.2%	音楽1					
東京工業大	943	1,078	-	22	2.0%	986	4.6%	-	11	1.1%	理2,工4,生命理工4 生命理工1					
東京海洋大	372	444	-	33	7.4%	430	15.6%	-	27	6.3%	海洋科5,海洋工10 海洋科7,海洋工5					
お茶の水女大	370	405	-	35	8.6%	423	14.3%	-	38	9.0%	文教育17,理1,生活科4 文教育10,理6					
電気通信大	621	741	23	114	15.4%	701	12.9%	0	65	9.3%	情報理工24 情報理工41					
一橋大	920	956	-	10	1.0%	957	4.0%	-	3	0.3%	商1 経済2					
横浜国立大	1,472	2,266	14	673	29.7%	1,811	23.0%	16	310	17.1%	教育人間科24,経済34,経営54,理工22 教育人間科13,経済24,経営24,理工115					
新潟大	1,759	1,994	15	137	6.9%	2,011	14.3%	7	165	8.2%	人文12,教育13,法9,経済16,理7,医(医)2,医(保健)4,工13,農2 人文10,教育22,法15,経済13,理7,医(保健)3,工16,農1					
長岡技術科学大	50	66	-	1	1.5%	55	10.0%	-	1	1.8%	工1					
上越教育大	110	128	0	9	7.0%	129	17.3%	0	13	10.1%	学校教育4 学校教育9					
富山大	1,376	1,643	9	224	13.6%	1,631	18.5%	5	204	12.5%	人文15,人間発達科3,経済30,理15,医(医)1,医(看護)2,薬8,工15,芸術文化9 人文10,人間発達科7,経済16,理12,医(医)2,医(看護)1,薬17,工33,芸術文化8					
金沢大	1,533	1,655	4	87	5.3%	1,669	8.9%	2	68	4.1%	人間社会39,理工21,医薬保健(薬)2,医薬保健(保健)6					
福井大	674	772	2	46	6.0%	769	14.1%	1	61	7.9%	教育地域科6,工16 教育地域科3,医(医)1,工35					
山梨大	626	686	5	67	9.8%	743	18.7%	6	72	9.7%	教育人間科3,医(看護)2,工21,生命環境21 教育人間科5,医(医)6,医(看護)1,工10,生命環境3					
信州大	1,595	1,861	13	196	10.5%	1,836	15.1%	12	210	11.4%	人文30,教育15,経済44,理32,医(医)5,医(保健)5,工28,農18,繊維33					
岐阜大	1,015	1,162	5	85	7.3%	1,182	16.5%	8	89	7.5%	教育11,地域科4,医(看護)1,工13,応用生物科2 教育14,地域科3,医(医)6,医(看護)2,工25,応用生物科8					
静岡大	1,499	1,771	*	185	10.4%	1,767	17.9%	*	226	12.8%	人文67,教育10,情報13,理9,工9,農4 人文19,教育5,情報14,理24,工38,農14					

値である。残りの茨城大・埼玉大・横浜国立大を①合格者割増率②入学辞退者数③入学辞退率の順にみると、茨城大27・3%・29.6名・18.4%、埼玉大24・7%・32.7名・17.8%、横浜国立大23・0%・310名・17.1%で、2011年度よりは2012年度の国立大人気で状況はかなりよくなっている。難関私大との競合ということで、他の国立大よりは厳しい状況におかれているが、状況は改善されているようだ。

この点で注目されているのが東京外国語大で、2011年度はこの3項目に該当していたが、2012年度に外国語学部を言語文化学部と国際社会学部の2学部に変更し、受験生の人気を集めるのに成功した。

他には室蘭工業大・滋賀大で2つの項目に当てはまっているが、地方の国立大は首都圏ほど私大と競合しないので、合格者を増やせばやっていけるのだろう。

文部科学省のデータで国立大と私大を合わせた「自県内大学への入学者数」では入学残留率1位が愛知県、2位が北海道、3位が福

難関私大と競合の大学は厳しい状態が続く

次に、合格者の割増率が20%以上、入学辞退者数200名以上、入学辞退率15%以上という3項目の基準で、2つ以上の項目に当てはまる大学も2011年度の11大学から6大学に減少した。

3項目が該当するのは、北見工業大・茨城大・埼玉大・横浜国立大の4大学である。

北見工業大は合格者割増率が71.3%(2011年度79.5%)、入学辞退者数208(2011年度235)名、入学辞退率39.5%(2011年度42.6%)と少しは改善されたが、まだまだ高い数値である。

特に辞退者が少ないのは旭川医科大学・一橋大・豊橋技術科学大の各3名、東京藝術大・長岡技術科学大の各1名、滋賀医科大と鳴門教育大は辞退者がゼロで、その人気の高さが証明されている。

科大・名古屋大・滋賀医科大・京都大・大阪大・岡山大・九州大の16大学である。これらの大学は、入試結果データからも受験生にとって人気の高い大学と言えよう。

②追加合格を実施したおもな国立大、学部内訳(2012年度)

大学名	追加合格者数	前期(学部・人数)		後期(学部・人数)	
北海道教育大	16	教育5(函館校5)		教育11(札幌校4,函館校5,旭川校2)	
帯広畜産大	1	0		畜産1	
旭川医科大	3	医(看護)2		医(看護)1	
山形大	7	理1,医(看護)1		理1,医(医)4	
福島大	6	共生システム理工2		共生システム理工4	
筑波大	24	社会・国際10,生命環境2,理工2		人文・文化3,理工5,医(看護)2	
群馬大	6	医(看護)6			
埼玉大	9	教育2,理7			
千葉大	10	文4,理1,医(医)1		法経2,理1,工1	
東京学芸大	3	教育2		教育1	
横浜国立大	16	0		理工16	
新潟大	7	医(医)2,医(保健)2		医(保健)3	
富山大	5	医(医)1,医(看護)1		医(医)2,医(看護)1	
金沢大	2	医薬保健(保健)2			
福井大	1	0		医(医)1	
山梨大	6	0		医(医)6	
信州大	12	理4,医(医)4,農4			
岐阜大	8	医(看護)2		医(医)6	
浜松医科大	4	医(看護)1		医(医)3	
名古屋工業大	6	工一部6			
三重大	8	0		医(医)1,医(看護)3,工4	
京都工芸繊維大	20	工芸科1		工芸科19	
大阪大	2	薬2			
神戸大	35	国際文化3,発達科学1,経営1,理3,工4		国際文化4,理2,医(保健)9,工3,農1,海事科4	
奈良女大	2	理2		0	
鳥取大	5	医(医)1,医(保健)3,工1			
岡山大	1	歯1		0	
広島大	3	医2,歯1			
山口大	1	0		工1	
香川大	5	医(医)1		医(医)1,医(看護)2,工1	
愛媛大	43	法文6,教育5,工2		法文19,理3,工8	
高知大	4	人文1,医(医)3		0	
九州工業大	6	0		工6	
長崎大*	10	教育1,医2,歯5		医2	
鹿児島大	27	法文5,教育2,医(保健)4,歯1,農2,水産1		教育5,医(医)1,医(保健)3,歯2,水産1	

*長崎大の医は医学部一括

いる。それでも、入学辞退者が多いと定員に近づけようと追加合格者を出している。

表②は追加合格者を出した大学の学部の内訳を前期と後期で示したものである。

ここには人数を公表した35大学を掲載しているが、北海道大、東京医科歯科大、東京外国語大、静岡大、徳島大でも追加合格者を出しているが数は非公表である。

北海道大歯学部後期日程の場合、当初合格者が8名で入学者が9名のため、大学の入試課に確認したところ、追加合格は実施した

が、実施学部などについてはすべて非公表ということであった。

2012年度は愛媛大が43名(2011年度21名)と追加合格者が一番多く出している。続いて鹿児島大27名、筑波大24名、京都工芸繊維大20名である。

ちなみに、追加合格の多い学部は医学部が一番多く、続いて理工学部系統、教育学部の順である。医学部の場合は、医学科とその他の看護・保健学科と分けて表示した。医学科では、入学辞退者が出た場合、多くの大学が追加合格者を出し、募集人員と入学者を同

じ数に調整している大学が多い。医学科に関しては、国からの予算も多く、定員を下回することは予算を適正に執行していないことになり、大学は定員にできる限り近づこうように追加合格を出しているようだ。また、医学科なら地方でも入学する優秀な受験生は多く、他の学部とは状況が異なるようだ。

受験の際は追加合格や入学辞退率も考慮しよう

追加合格者数と入学辞退者数から国立大の分析を試みてきたが、国立大で2012年度も7458

名の辞退者が出たということはあまり話題になっていない。今までも追加合格が難しかった国立大でも、入学辞退者数が多い大学や募集人員より合格者を多く出す大学は、受験生にとってはねらい目である。

現役合格をめざすのならば、オープンキャンパスや大学説明会に行き、大学の情報を集めよう。自分の合格可能性については、大学のデータを参考に、志望学部のミスマッチを避け、入学辞退率や追加合格なども考慮して前日程、後期日程の志望校を考えよう。(文・データ構成/田中和子)

大学名	募集人員 2012年度	2011年度				2012年度				入学辞退者学部内訳		
		最終合格者数	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	最終合格者数	合格者割合	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	前期(学部・人数)	後期(学部・人数)
		徳島大	892	1,039	10	132	12.7%	1,049	17.6%	*	134	12.8%
鳴門教育大	83	96	-	2	2.1%	98	18.1%	-	0	0.0%	-	-
香川大	914	998	0	121	12.1%	1,028	12.5%	5	123	12.0%	教育8,法16,経済22,医(医)1,医(看護)2,工12,農9	教育9,法5,経済13,医(医)1,医(看護)3,工16,農6
愛媛大	1,262	1,493	21	142	9.5%	1,498	18.7%	43	164	10.9%	法文31,教育13,理6,医(看護)2,工21,農6	法文35,教育1,理13,工31,農5
高知大	731	885	0	130	14.7%	857	17.2%	4	113	13.2%	人文24,教育8,理17,医(医)3,農12	人文13,教育11,理18,医(看護)3,農4
福岡教育大	557	620	0	39	6.3%	624	12.0%	0	32	5.1%	教育18	教育14
九州大	2,358	2,581	-	114	4.4%	2,559	8.5%	-	115	4.5%	文4,教育2,法4,経済8,理3,医(保健)5,歯5,工14,芸術工3,農2	文4,法15,経済8,理8,歯3,工23,農4
九州工業大	761	878	6	90	10.3%	877	15.2%	6	92	10.5%	工7,情報工5	工49,情報工31
佐賀大	1,095	1,328	-	193	14.5%	1,338	22.2%	-	190	14.2%	文化教育19,経済55,医(看護)3,理工24,農7	文化教育14,経済25,医(医)1,医(看護)1,理工30,農11
長崎大	1,231	1,402	10	102	7.3%	1,364	10.8%	10	110	8.1%	教育5,経済25,医6,歯5,工12,環境科7,水産1	教育2,経済20,医3,薬7,工10,環境科4,水産3
熊本大	1,469	1,623	0	79	4.9%	1,648	12.2%	0	100	6.1%	文5,教育9,法15,理5,医(保健)3,薬4,工15	文4,教育2,法3,理15,医(医)1,医(保健)6,薬3,工10
大分大	823	956	-	93	9.7%	987	19.9%	-	126	12.8%	教育福祉科16,経済25,医(医)1,医(看護)5,工26	教育福祉科11,経済26,医(看護)3,工13
宮崎大	819	955	-	126	13.2%	988	20.6%	-	121	12.2%	教育文化16,医(看護)2,工25,農19	教育文化14,医(医)1,医(看護)5,工23,農16
鹿児島大	1,656	1,887	16	168	8.9%	1,888	14.0%	27	169	9.0%	法文31,教育9,理7,医(保健)6,歯1,工19,農19,水産11	法文11,教育9,理4,医(医)1,医(保健)3,歯2,工21,農4,水産10,共同獣医1
鹿屋体育大	85	97	0	8	8.2%	100	17.6%	0	7	7.0%	体育7	
琉球大	1,252	1,488	-	182	12.2%	1,476	17.9%	-	166	11.2%	法文14,観光産業科2,教育3,理10,医(医)1,医(保健)1,工36,農4	法文10,観光産業科13,教育4,理11,医(保健)4,工48,農5

*夜間主コース・Bコース・フレックスコース(昼間部がある場合)を除く。
*追加合格者数の「-」は、大学資料のままか、または記載の無いもの。
*北海道大の最終合格者数は当初合格者数。
*名古屋工業大の辞退者数は総辞退者数。

*入学辞退者数は、最終合格者数から入学者数を引いたもの。
追加合格者数の「」は、最終合格者数に追加合格者数を含むが数値は非公表。
*名古屋大の医学部は前期と後期の合計。

追加合格は医、理工、教育学部の順に多い

さて、大学側では最初から入学辞退率を見込んで合格者を出して

岡山、4位東京と続いている。なお、他県の大学へ入学したものの流出先1位が東京なのは、埼玉48・3%、神奈川県47・8%、千葉県42・9%、茨城県32・9%、栃木県27・5%、群馬県25・4%である。いずれの県からも東京へ大量の受験生が流れている。

では、具体的にどの学部での入学辞退者が多いのだろうか。辞退者がいなかった滋賀医科大と鳴門教育大を除く79大学で7458(2011年度8853、2010年度7951)名の辞退者がいる。工学部がその全体の30・8%を占めている。続いて社会学部系統が20・1%、人文学部系統13・4%、教育学部11・9%の順だ。

一概に辞退者数の数だけで人気のある学部、ない学部を論ずるのは危険だが、毎年工学部の入学辞退者が特に多いのが目につく。

工学部は、募集人員の数が文系の2・3倍と多いので、辞退者数も比例して多くなるのだろう。